

# もみじ

— 広島県山岳連盟会報 —



一般社団法人 広島県山岳連盟  
〒733-0011 広島市西区横川町 2 丁目 4-17  
電話・FAX (082) 296-5597  
E-Mail: hgakuren@lime.ocn.ne.jp  
URL: <http://hiroshima-gakuren.or.jp>

## 平成 25 年度定期総会開催

### 平成 24 年度決算

単年度収支  $\Delta 1,045,503$  円

日時: 2013・5 月 25 日 (土) 15:30~

場所: ホテルチューリッヒ東方 2001

平成 25 年度定期総会は 5 月 25 日 (土) 午後 3 時 30 分からホテルチューリッヒ 2001 で開催された。

開会に先立ち豊田事務局長から「議決権総数 294 票に対して委任状を含めた出席票数 243 票となっており定款の定めによりこの総会は成立している」と報告があった。京才会長の挨拶ののち、京才会長を議長に選出して議事に入った。議題及び主な内容は次のとおりである。(詳細は総会資料を参照ください。)

#### 議題

- 1、平成 24 年度事業報告
- 2、平成 24 年度決算報告・監査報告
- 3、役員改選
- 4、平成 25 年度事業計画
- 5、平成 25 年度予算案
- 6、定款等改訂

#### 第 1 号議案、平成 24 年度事業報告

岳連例会山行実施参加者述べ 122 名

運営方針、スタッフ交代

#### 事業部 (後藤)

指導部・事業部合同部会を月 1 回開催。登山教室は前年の反省に立って、運営方針、スタッフの交代があり開始が 1 ヶ月遅れた。クライミングスクール中級クラス設定、受講者 32 名。岳連例会山行 14 回実施、122 名 (スタッフ含む) 参加。指導員派遣 (クライミング・ビギナーズ・レッスン)



総会開催風景 5・25 ホテルチューリッヒ 21

#### 指導部 (池本)

##### 登山教室、延べ受講生 63 名

- 1、講習会 5 回開催、参加者 130 名 (スタッフ含む)
- 2、日本山岳協会主催講習会・研修会 5 回 12 名参加
- 3、クライミングスクール受講者 32 名  
8 回 延受講者 297 名 (スタッフ含む)
- 4、クライミングビギナーズレッスン (県立体育館)  
12 回 延受講者 167 名 (スタッフ含む)
- 5、登山教室 11 回受講者 63 名 スタッフ 16 名
- 6、例会山行 14 回受講者 96 名 スタッフ 26 名

7、机上講習会 7回 受講者 89名

**普及部 (宇山)**

**スカイラン 580名参加**

雲月山野焼きボランティア (4・14 32名参加)、第20回比婆山スカイラン (5・19 選手 580名参加、役員 177名) 日山協主催自然保護委員会総会 (8・8~9 北海道十勝連峰 2名参加) 自然保護指導員研修会 (9・23 八幡高原 41名参加) などの報告があった。

**競技部 (伊東)**

**岐阜国体出場等**

第67回岐阜国体出場など22の大会、協議会、記録会、研修会に出場、参加した。

**国際部 (名越)**

**70年記念登山実施**

第20回山岳辺境セミナー (世界を旅する: 石川直樹 10・13 受講者 80名)、山岳連盟創立70周年記念登山&トレッキング隊派遣 (Amphu 1峰) は6000mにて敗退した。会計報告があった。また、報告書の閲覧があった。

**県東部 (山内)**

**安全登山研修会開催 49名参加**

第11回ひろしま「山の日」県民の集い (6・3 ふくやまふれ愛ランド 参加者 20名)、安全登山研修会 (6・10 ふくやま市民参画センター 参加者 49名、福山城石垣清掃 (中止)、合同登山 (11・25 福山古墳ロード 参加者 36名)

**高体連**

インターハイ (8・7~11 新潟県苗場山ほか) 団体男子修道2位 団体女子基町24位 大会及び生徒参加事業15、指導者関連事業4回実施。

以上異議なく承認された。

**第2号議案、平成24年度事業報告 (豊田)**

**正味財産 20,975,339円**

事務局から「決算報告書第4期 (平成24・4・1~平成25・3・31) により次のとおり報告があった。

○貸借対照表 単位:円

資産の部

流動資産合計 20,975,339 流動負債合計 0

正味財産の部 正味資産合計 20,975,339

○正味財産増減計算書

正味財産期末残高 20,975,339

○財産目録

流動資産 現金 (普及部) 15,945 (競技部) 10,143

預金 (10通帳) 3,210,608 特別会計 (4通帳)

17,715,391 仮払金 49,340 資産合計 20,975,339

負債 0 正味財産 20,975,339

**収支計算書**

区分	事務局	指導部	普及部	競技部
事業収入	2,003,248	1,356,510	135,740	3,191,949
活動支出	3,280,214	958,510	146,895	3,365,663
収支	△ 1,276,966	398,000	△ 11,155	△ 173,714

国際部	事業部	比婆山スカイ	合計
339,690	223,000	3,420,862	10,690,999
639,180	265,090	3,080,970	11,736,502
△ 279,470	△ 42,090	339,892	△ 1,045,503

**広島県山岳連盟事務所ローテーション**

開所時間 13:00~18:00

月 岩内 平田 火 萬行 落海

水 平田 落海 木 平田

金 岩内 萬行

拡大運営会議 (水) には平田・落海両氏が交代勤務

**会計監査報告 (野々下)**

野々下監事より「通常認められる会計基準に従って

監査した結果、執行状況及び財務は適正に処理されていると認められた」と報告があった。

以上異議なく承認された。

### 第 3 号議案 役員改選

**新任理事** 綿谷 (福山山岳会)、香川 (マツダ)  
新山 (JAC) を加え 19 名選任

山田理事長から次の通り提案があった。

名誉役員 参 与 山内  
顧問弁護士 溝手  
顧問ドクター 杉村・松下  
顧問トレーナー ○片山

監事・理事

監事 野々下 林

理事 京オ (広島山岳会) 山田 (広島山岳会)  
野島 (マツダOB) 岡谷 (JAC)  
松島 (登山研究所) 伊東 (修大)  
永津 (マツダOB) 豊田 (JAC)  
名越 (広島山岳会) ○香川 (マツダ)  
○綿谷 (福山山岳会) 村井 (県庁)  
仲井 (ひこばえ) 福永や (東広島)  
福永輝 (高体連) 後藤裕 (广大)  
宇山 (庄原) 佐藤建 (修大)

○ 新山 (JAC)

○印は新任 理事は、各部を統括しながら、岳連事業全体を推進する。

一般社団法人広島県山岳連盟組織図 (案) 2013・5・25

顧問	亀井 (郁)・田内・平田・加賀谷・兼森
参与	岡本 (忠)・鈴木・加藤・小土井・岩内・萩原 坂本・井ノ口・谷・尾道・福原・山本和・富澤 山内

顧問弁護士	溝手
顧問ドクター	杉村・松下
顧問トレーナー	片山

京オ会長再任、

山田理事長 (副会長) 再任

副会長に野島、岡谷、綿谷を選任

会長 京オ

副会長 山田・野島・岡谷・綿谷

理事長 山田

理事 京オ・山田・野島・綿谷・岡谷・村井・仲井  
松島・後藤裕・永津・宇山・福永や・伊東・  
豊田・福永輝・名越・佐藤・新山・香川

以上 19 名

監事 野々下・林

以上 2 名

理事会：(年 4 回開催)

運営委員会：毎月開催

事務局 豊田・村井・仲井

総務：岩内・村井・萬行・平田・落海

広報：仲井

会計：豊田・平田

指導部 後藤裕

指導・遭対委員会堀内

(各種養成・講習・研修会)

指導員派遣

事業委員会 (登山教室) 森本・上原

各事業スタッフは運営スタッフと指導員で実施する。

(クライミングスクール) 新山・蒲谷・後  
藤里

(机上講習会) 森本

(ビギナーズレッスン) 蒲谷・永田

(岳連例会山行) 今澤

運営スタッフ：	岡谷・清家・堀内・森本・楨・坂本 薫・上原・古川・石田・新山・佐々木克・蒲谷・永 田・後藤里・後藤裕・今澤・山村
---------	--

普及部 宇山・永津・福永や

自然環境 福永や・小田・後藤昭・三藤敬・萬行  
森智

スカイラン&登山フェスティバル 永津・香川・三藤  
敬・小林・平田・山本・谷・井川・山元・  
倉西・高村・円石

競技部 佐藤・伊東・香川

国体 (強化・運営) 齊藤・(香川)・大島

キッズクライミング 本谷・(金本)・(岩内)

ジュニア育成 (西部)・中野・錦織・佐野・千原  
香川(父)・田坂

国際部 名越・松島・豊田

海外登山 新山・田中勝・吉村千

国際交流 北林・森原・李

県東部 綿谷

県東部事業 村上・楨本

高体連部 福永輝

岳連との連絡調整 西部・北林・森原

以上異議なく承認された。

#### 第 4 号議案 平成 25 年度事業計画 (山田)

### アジア山岳連盟広島大会

2014・10・30 (金) 開催予定

#### 1、事業方針

日本山岳協会が平成 25 年 4 月 1 日「公益社団法人  
日本山岳協会 (JMA)」となった。当岳連も日山協  
「目的」に習い県下の登山愛好者に寄与する。

(目的) : この法人は (中略) 安全登山を第一に山の  
環境と文化に配慮した登山及び山岳スポーツ普及振  
興を図り、もって国民の心身の健全な育成に寄与す  
ることを目的とする。

#### 2、重要計画方針

(1) 指導部体制の改正 ①指導員養成及び安全登山  
のための、各種講習会・研修会を開催し、事業委員会  
ほかが行う事業に対し登録指導員の派遣を行う。②岳  
連が事業として取り組んでいる各事業を実施する。

(2) 山岳共済の促進

(3) 安定した財政の確保と経費節減を促進する。

3、「アジア山岳連盟広島総会」(Union Asia  
Alpines Associations (UAAA)) の広島開催の準  
備を行う (アジア山岳連盟創立 20 周年記念式典併合)  
会期 2014 (平成 26) 年 10 月 30 日 (金) ~11 月 4  
日 (火)

主催 : 公益社団法人日本山岳協会

主管 : 一般社団法人広島県山岳連盟

場所 : 広島市周辺

平成 25 年度一般社団法人広島県山岳連盟事業計画  
(案) (主要行事・事務局 (各種会議)・事業部・指導  
部・国際部・県東部・普及部 (スカイラン)・競技部・  
高体連・国立登山研修所・日山協・中国ブロック)  
(別紙配布資料)

以上異議なく承認された。



#### 6・1 山の日

登山道整備 (猿木峠~掛頭山~土草峠)

北広島会場 広島県山岳連盟・日本山岳会広島支部

#### 第 5 号議案 平成 25 年度予算案 (豊田)

総計最終収支 21,479,879 円



事務局から平成 25 年度予算案について資料により説明があった。主な内容は次のとおりである。

事業収入 8,287,000 円、事業支出 9,126,460 円、事業活動収支差額△839,460 円

特別会計 (国体強化・比婆山スカイラン・遭難対策基金 山岳環境保全基金・法人化基金)

事業収入 4,358,000 円、事業支出 3,014,000 円、事業収入 1,344,000 円 総計最終収支 21,479,879 円

以上により、一般会計、特別会計を合算すると繰越金 2,0975,339 円、事業収入 12,645,000 円、事業支出 12,140,460 円、事業収支は 504,540 円の予算となる。

以上異議なく承認された。

### 第 6 号議案 定款等改訂について (村井)

#### 団体会費 20,000 円 (30 人未満) に改訂

##### 1、定款第 19 条を変更する件

定款第 19 条を次のように改める。

第 19 条 社員総会における議決権は次のとおりとする。

(1) 個人正会員の議決権は、1 名について 1 個とする。

(2) 団体正会員の議決権は、団体に加盟する会員の数に応じ、下記別表に定めるところによる。

別表議決権

団体区分		議決権の個数
山岳愛好家を会員とする団体	会員数 30 人未満のもの	6 個
	会員数が 30 人以上 50 人未満のもの	10 個
	会員数が 50 人以上 100 人未満のもの	13 個
	会員数が 100 人以上 200 人未満のもの	16 個

	のもの	
	会員数が 200 人以上のもの	20 個
その他の団体		1 個

(3) 大学生等の山岳愛好家を会員の主体とする団体のうち、会長が必要と認めるものは、前号にかかわらず 3

個とする。

##### 2、定款第 20 条第 3 項を変更する件

定款第 20 条第 3 項中「第 2 項の決議」を「第 1 項の決議」に変更する。

##### 3、「入会金及び会費に関する規程」第 3 条を変更する件

第 3 条 正会員の年会費は、つぎのとおりとする。

(1) 個人正会員の年会費は、3,000 円とする。

(2) 団体正会員の年会費は、団体に加盟する会員の数に応じ、下記別表に定めるところによる。

別表 年会費

団体区分	年会費の額	
山岳愛好家を会員とする団体	会員数が 30 人未満のもの	20,000 円
	会員数が 30 人以上 50 人未満のもの	30,000 円
	会員数が 50 人以上 100 人未満のもの	40,000 円
	会員数が 100 人以上 200 人未満のもの	50,000 円
	会員数が 200 人以上のもの	60,000 円
その他の団体	10,000 円	

(3) 大学生等の山岳愛好家を会員の主体とする団体のうち、会長が必要と認めるものは、前号にかかわらず 10,000 円とする。

2、賛助会員の年会費は、個人 1 口 5,000 円、団体 1 口 10,000 円とし、口数は、1 口以上、それぞれの賛助

会員の意志によって決する。

3、名誉会員は年会費を納める事を要しない。

その他

### 1、賛助会員としての加盟のお願い

平成 21・5・9 一般社団法人として認可されてから 4 年が経過したが財政の強化が立ち遅れている。今後よりよく発展させるため皆さんの支援をお願いします。

年会費：1 口 5,000 円 (個人の場合)

1 口 10,000 円 (加盟団体、法人の場合)

### 2、退会

広島山想会から本日をもって退会する旨の発言があった。

**総会出席者** 2013・5・25 (ホテルセンチュリー-東方 21)

亀井郁夫・加藤威海・○尾道憲二 (以上名誉会員)

京才昭・山田雅昭・山内充人・野島信隆・岡谷良信・村井仁・仲井正美・豊田和司・池本喜浩・名越實・野々下耕生・○林雅晴 (以上理事監事)

久保信義 (広島山岳会)・小林敏行 (可部山岳会)・綿

谷弘志 (福山山岳会) 菊間秀樹 (広島県庁山の会)・

弘中和明 (マツダ親和会)・伊東奉文 (広島修道大学

山岳会) 小野英治 (広島山想会)・兼森志郎 (日本山

岳会広島支部) 福永やす子 (東広島山の会)・森智昭

(登山教室同窓会ひこぼえ) 宇山英之 (山を歩く会庄

原)・小方重明 (広島三峰会) 堀内輝章 (広島パイオ

ニアクラブ)・松島宏 (広島登山研究所)

○懇親会のみ出席

### 俳句五題

富澤哲郎 (岳連参与)

五月晴 登山すれば 水が友

老の身で 頂踏んで 感喜あり

暑い中 谷川の音に 涼があり

風吹けば アカシアの葉 ゆれにゆれ

ツツジ散り アジサイ咲いて 梅雨近し

## 山の風景 27

### 登山道整備 2013・6・1

### 猿木峠～掛頭山～土草峠

写真提供 森 智昭



## 岳連短信

### 1、京才昭会長、日山協常務理事に選任

5 月 26 日の日山協理事会で、京才昭氏は日本山岳協会常務理事に選任された。任期は 3 年間。

## 編集部より

○この会報は、皆さんの提出原稿を編集して発行しています。岳連行事・山の情報・行事参加の感想など気軽にお寄せください。編集の都合で一部手直しすることがあります。ご了承ください。

○各研修会、講習会へ参加された方は積極的に報告書を提出ください。随時掲載いたします。

○会員団体で会報発行されたら岳連事務局まで恵送下さい。随時紹介します。

題字デザイン 今村みずほ 編集 仲井正美